

ときえのチャレンジノート

No.18 2022/4/28

発行 品田ときえ事務所
旭川市春光台 2 条 3 丁目
7-21 Tel&Fax 53-9341
メールアドレス
humituki.7.tokie@i.sof
tbank.jp



この街に、笑顔の花を咲かせたい。

2022 年度予算案に物申す!! 付帯決議により条件付きで賛成へ

2 月 21 日に開会した第 1 回定例会が
3 月 25 日に閉会しました。

一般会計予算は、前年度比 3.5%(56 億 8
千万円)増の 1,658 億 1 千万円です。

要因はコロナ対策交付金等増ですが、市税
収入が企業業績等の改善を見込んだとして
12 億円も増額しています。内訳では市民税
約 7 億円、固定資産税約 2 億 6 千万円、市
たばこ税約 1 億 7 千万円等となっており、
新型コロナウイルス感染症の収束が見込め
ない現状や、コロナ対策の融資を受けた企
業では返済が重荷になる可能性もあり、不
安が残る状況です。

支出では、「あさひかわおやこひろば」
(仮称)をツルハ旭川中央ビル 2 階に設置す
る案に、異論が噴出しました。

『乳幼児検診や発達相談の一元化で支援
強化を目指す』というのは私達も求めてき
たものですが、想定不足による課題だらけ
の事業になっていました。

契約期間 20 年、賃料 12 億円超という、
公契約では異例の長期契約と金額も問題に
なりました。

始まったら後戻りできない事業です。

構造上のハード面での改修、心理的なソフ
ト面での配慮、そして定期的な検証を行な
うことを付帯決議で求めて賛成しました。

要約筆記者
養成講座を
受講しませ
んか?

聴覚障害がある方に
話の要点を書いて伝
える要約筆記を学ぶ
講座です。

詳細は、広報誌
「あさひばし 4 月号」
P25 上段を
参照して下さい。



付帯決議を読み上げる品田



明らかになった課題の一部

- ◎ビルの構造が乳幼児連れの移動を想定した
造りにない→狭いエレベーター、
並んで乗れない幅の狭いエスカレーター、
併設の立体駐車場との渡り廊下は狭くて手
を繋いで通れない上、柵に足が挟まる可能性
があり、更に段差と重たい 2 枚の防火扉等
- ◎平坦地のない立体駐車場→ベビーカーを固
定出来ない、子どもと車の接触事故の不安
- ◎交通量が多い商業地域で商品搬入車等の路
上駐車が多い→子どもの事故の心配
- ◎健診と相談が別施設による弊害解消が目的
のはずが、会場は同じでも相談は後日予約
→今までと同じになるのでは?
- ◎一元化は生まれてから未就学児まで→乳幼
児と就学児養育世帯では相談先が分離。
また、支援が必要な特定妊婦は母子手帳交付
時からの連携が必要だが、手帳交付は市役所。
- ◎駅前の一等地設置なのに、土日祝日は健診・
相談会場閉鎖→経済効果・賑わい何処へ・・・
- ◎従来の子ども総合相談センターの今後の利
活用計画不明と新庁舎設計変更で 1 千万円

『いじめの重大事態に係る中間報告』を受けて

臨時 経済文教常任委員会を開催

3/27、旭川市いじめ防止等対策委員会が、ご遺族側に事実関係の調査結果として、いじめとして取り上げる6項目について説明。

4/14・15、教育委員会への中間報告書提出、市長報告、報道発表等の一連の動きを受けて、4/21 教育委員会を所管する経済文教常任委員会は臨時会を開催し、4人が質疑しました。(その一部を紹介します。)

◎これまでの調査経緯→臨時委員補充等を経て7/9から実質的な調査開始。856名の児童生徒アンケート、50名以上の関係者聴き取り、27回に及ぶ対策委員会開催等。

◎警察との連携→事案発生当初から、学校が知りえた情報提供、教育委員会からも、対応状況に関わる問い合わせや学校との連携を依頼。

◎時間がかかった理由→いじめの重大事態調査等を経験した委員が少数だったので、慎重に動いた。当時の児童生徒や教員等のべ50名以上に対面聴き取りを実施。反訳書の共通理解を図った上で事実認定協議を行うことを繰り返し行なってきた。最善を尽くしてきたと認識している。

◎当時いじめの認知に至らなかった理由→関係生徒等からの聴き取りや警察の対応状況に関する情報から判断。学校は関係児童生徒への指導、保護者への説明・助言、謝罪の場の設定など「いじめ防止基本指針」に準じた対応を実施。いじめ認知の判断も含め、学校や教育委員会の対応の課題等は調査中。

◎ご遺族への支援と加害生徒の取り扱い→最終報告がまとまった段階でご遺族の考えを確認し、真摯に対応して行きたい。加害生徒は全員卒業しているため直接の指導・助言は難しい。ご遺族の意向も踏まえつつ、警察等関係機関へ積極的に情報提供していく。

第25回建築賞表彰式

旭川の歴史的建造物の保存を考える会

4月16日、総会と表彰式を開催。

今回表彰されたのは、旭川市の旧青少年科学館(現文学資料館)と、美瑛町の旧旭農場産業組合棟煉瓦倉庫です。

どちらも赤煉瓦が美しい、風情のあるたたずまいをしています。旭川市は、中村副市長が出席して、賞状を受け取りました。



←旧青少年科学館



赤煉瓦倉庫→



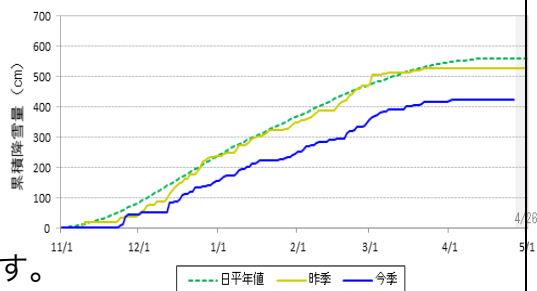
～降雪量は例年の8割～

除排雪費 30億円弱は

使い過ぎでは?!

決算見込みによれば、昨年度の除排雪費は29.9億円とのこと。所信表明演説で「子ども食堂への支援」を明言したのに、予算が足りなくて1月から助成金が無くなりました。

限られた税金の配分に、行政の姿勢が現れます。しっかり追求してまいります。



新型コロナ感染症対策

最近では1日の感染者が300人を超えるなど、新型コロナウィルス感染症は、収束するどころか拡大している状況です。

児童・生徒の感染拡大は、働き盛りの親の職場に大きく影響しています。ゴールデンウィークを控え、一層の感染予防を!!

🌸 大変失礼いたしました 🌸
前号で「ユネスコ」を
「ユニセフ」と誤記 🌸